新規事業採択時評価結果(平成16年度新規事業化箇所)

担 当 課:関東地方整備局道路部地域道路課

担当課長名: 櫛引 繁雄

事業概要

一般県道上久我都賀栃木線は、鹿沼市上久我地内から国道293号を経て栃木市に至る幹線道路であり、地域住民の生活道路として重要な役割を担っている。本事業は、思川総合開発事業の南摩ダム建設に伴って水没する県道の付替整備を行うものであり、延長9.0kmの2車線の付替及びバイパス整備を行うものである。

事業の目的、必要性

本事業は、南摩ダム建設後の基幹となる路線を整備するものであり、ダム建設によって移転を余儀なくされた地元住民の生活の利便性を確保するとともに、水源地域の生活環境の向上を図ることを目的とする。

3 2 億円 全体事業費 計画交通量 200台/日 基準年 | 平成15年 費用対効果 B / C 総便益 総費用| 分析結果 3 1 億円 50億円 業 費: 26億円 (走行時間短縮便益: 46億円 維持管理費: 5億円 走行費用減少便益: 3 億円 |交通事故減少便益: 1 億円

感度分析の結果 - 🗀

交通量変動:B/C=1.7(交通量+10%) B/C=1.4(交通量-10%) 事業費変動:B/C=1.4(事業費+10%) B/C=1.7(事業費-10%)

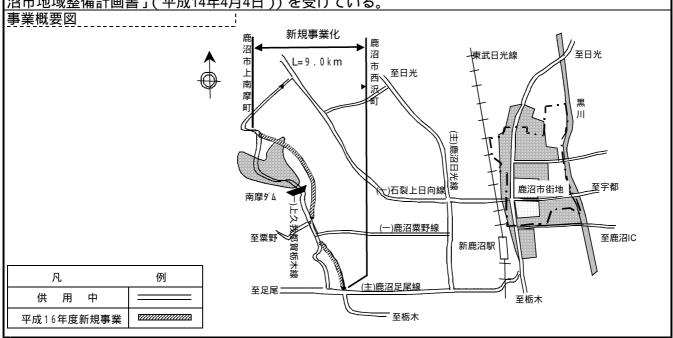
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保(バス路線の利便性向上)
- ・国土・地域ネットワークの構築(現道等における大型車のすれ違い困難区間の解消)
- ・個性ある地域の形成(特別立法水源地域対策特別措置法に基づく事業)
- ・他のプロジェクトとの関係(思川総合開発事業)

他 3 項目に該当(定量的評価項目を含む)

関係する地方公共団体等の意見

(一)上久我都賀栃木線の付替等については、思川総合開発事業に伴い、地元鹿沼市より要望 (「鹿沼市地域整備計画書」(平成14年4月4日)) を受けている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。